

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターを利用している児童を対象としているため、保護者の同意を得られれば、担当者同士が連携を取りやすい。	・訪問前は、児童発達支援センターの担当者に児童や家族の状況を確認している。 ・訪問後は、児童発達支援センターの担当者に訪問先の状況等を共有している。	・引き続き、家族、訪問先、児童発達支援センターで、児童の関わり方等を共有していく。 ・児童に関わる多職種間での連携に努めていく。
2	・児童発達支援センターは保護者同伴での通園となっているため、保護者とのやり取りの機会をもちやすい。	・児童発達支援センター利用時に、聞き取りや報告を行うことで、保護者の負担が少ない中で利用できるようにしている。	・保護者の必要に応じて、訪問前後だけでなく随時やり取りできるような関係づくりに努めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者や訪問先と、訪問前後以外の連絡や情報の共有不足。	・保護者や訪問先に対して、事業の目的や訪問員の役割の説明が不足している。	・保護者や訪問先に対して、事業の目的や訪問員の役割をわかりやすく説明していく。 ・保護者に対しては、児童発達支援センター利用時に訪問先での様子を確認し情報共有に努めていく。
2	・対象児童の状況に合わせた訪問の実施。	・限られた人員で行っているため、迅速な対応が難しい。 ・保護者や訪問先との情報の共有が不足している。	・保護者や訪問先との、定期的な情報共有に努めていく。
3			